科目名	デッサン２							年度	2026
英語科目名	Drawing 2							学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科　1年次	必／選	必	時間数	90	単位数	6	種別※	演習
担当教員	水野裕佳	教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家		

【科目の目的】
鉛筆による三次元空間の表現と応用

【科目の概要】
より高度なデッサン技法を探求し、様々な素材やスタイルを試みながら立体感や表現の幅を広げ、個々の芸術的アイデンティティを発展させます。

【到達目標】
形状や量感を把握し、基礎画力の向上。クオリティの高い技術をつける。
限られた時間の中で線を組み立て、奥行きを出すことができる。
自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。

【授業の注意点】
授業の構造上、大事なポイントはいちばん最初に説明するので遅刻、欠席には十分注意する。課題提出の〆切や道具の用意などは順守すること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている		レベル３ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感を完璧に理解し、複雑な作品に応用できる。	応用的要素を正確に理解し、一定の複雑さを持つ作品に適用できる。	応用的要素の一部を理解し、単純な作品に適用できる。	基本的要素の理解が浅く、作品への適用に制限がある。	基本的要素の理解が不十分で、作品への適用が困難。
到達目標 B	鉛筆の削り方や道具の使い方を十分に理解している。輪郭線に頼らず立体的に描写できる。	鉛筆の削り方や道具の使い方を理解している。輪郭線に頼らず立体的に描写することを意識している。	鉛筆の削り方や道具の使い方を理解している。陰影に目を向け、立体的に描写することを意識している。	鉛筆の削り方や道具の使い方を十分に理解していない。輪郭線が強く、陰影で描写できていない。	鉛筆の削り方や道具の使い方を十分に理解していない。輪郭線が強く、陰影で描写できていない。
到達目標 C					
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】
教科書・教材

【参考資料】
特になし

【成績の評価方法・評価基準】
授業内容の理解度を作品を提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	デッサン２	年度	2026
英語表記	Drawing 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
2	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
3	静物デッサン	応用的な静物画の描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	構図と質感を考慮して描写する	3	
				講評			
4	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1	鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
5	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1	鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
6	人物デッサン	人体のプロポーションと質感の違いについての応用	1	鉛筆デッサン・クロッキー	人物のプロポーションと質感を理解する	3	
			2	講評			
7	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
8	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
9	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
			2	講評			
10	選択課題	デッサン応用	1	鉛筆デッサン	デッサン応用□	3	
			2	水彩画			
11	選択課題	デッサン応用	1	鉛筆デッサン	デッサン応用□	3	
			2	水彩画			
12	選択課題	デッサン応用	1	鉛筆デッサン	デッサン応用□	3	
			2	水彩画			
			3	講評			
13	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
14	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
15	石膏デッサン	石膏デッサンの応用的な描き方を理解する	1	鉛筆デッサン・クロッキー	応用的な石膏デッサンのプロセスを理解する	3	
				講評			

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等